

## 仙台圏マンションマーケット調査【INSEARCH】

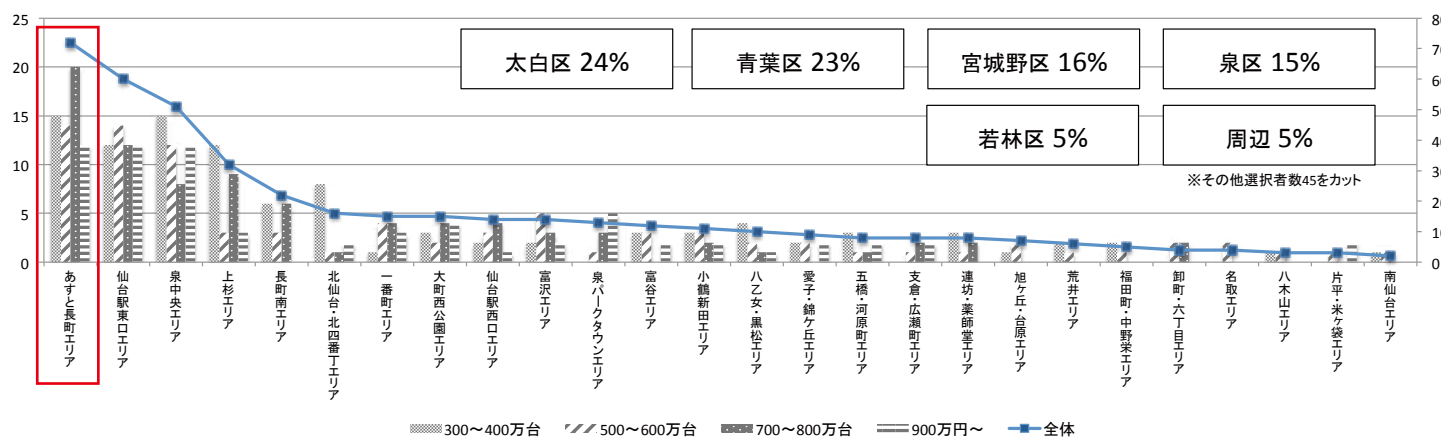
調査方法：仙台圏在住のモニターに帯するインターネットによるアンケート調査

### MARKET REPORT

調査期間：10月12日～10月19日 設問数：42 回答数：469

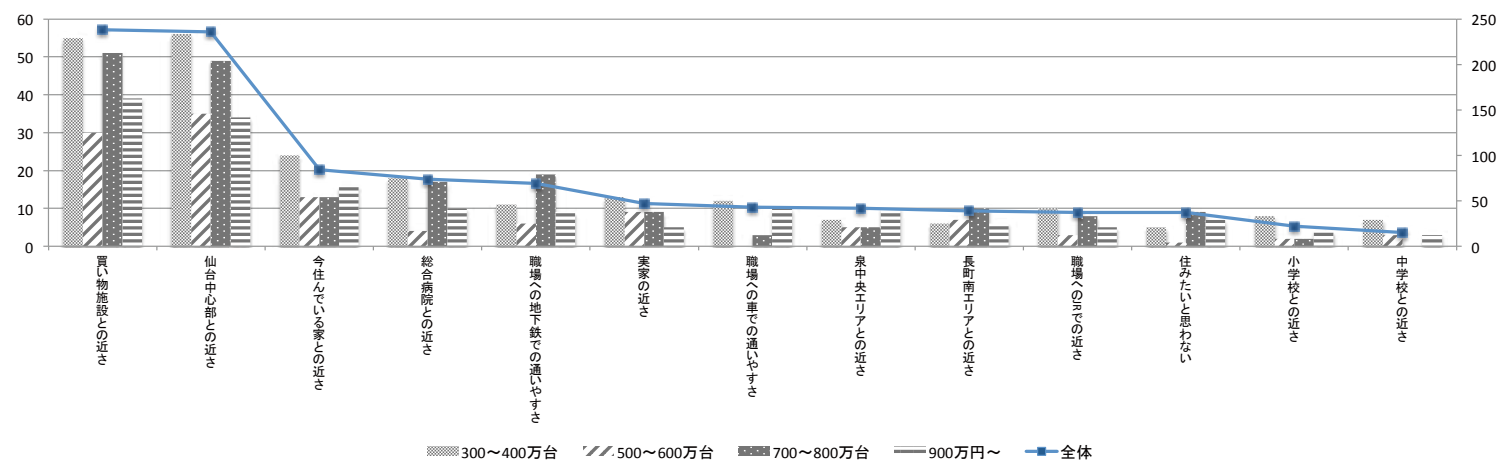


今後、住宅を購入すると仮定した場合、仙台近郊で住みたいエリアはどこですか？



住みたいエリアでは、「あすと長町エリア」が1位（15%）、次いで「仙台東口エリア」（12%）「泉中央エリア」（10%）、都心と副都心に人気集中。

重視したポイントは何ですか？（3つまで）



エリア選定のポイントは、「買物施設との近さ」「仙台中心部との近さ」が圧倒的に多くなっている。

## 仙台圏マンションマーケット調査【INSEARCH】

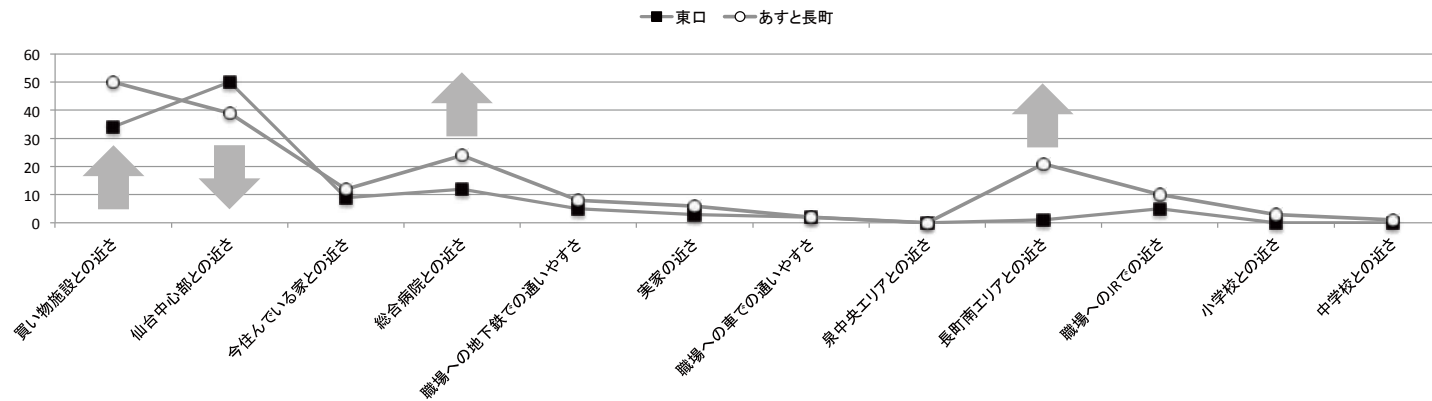
調査方法：仙台圏在住のモニターに帯するインターネットによるアンケート調査

### MARKET REPORT

調査期間：10月12日～10月19日 設問数：42 回答数：469

あすと長町エリアを選んだ人 (n=72) と仙台駅東口エリアを選んだ人 (n=60) の比較

重視したポイントは何ですか？（3つまで）

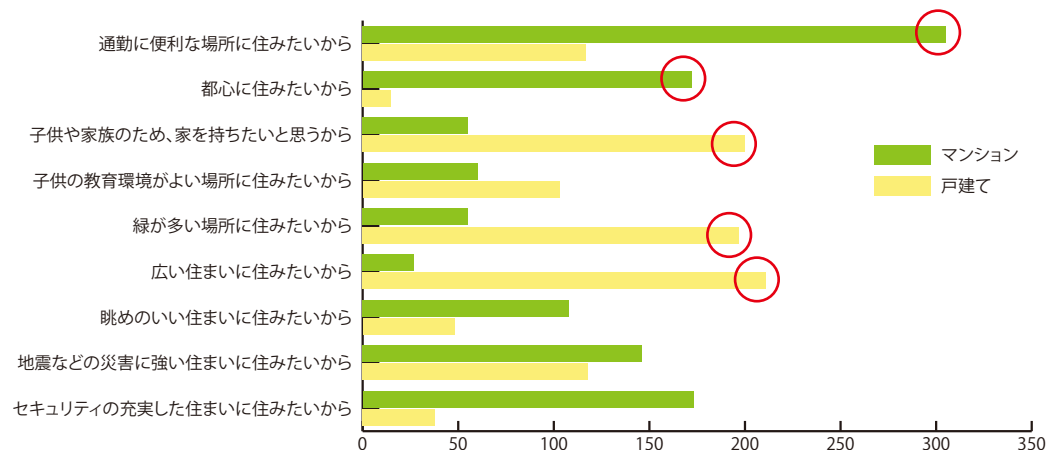


「あすと長町エリア」は「買物施設との近さ」や「総合病院との近さ」、「長町南エリアとの近さ」において、「仙台駅東口エリア」より数値が高くなっている。

JR東北本線の高架化・仙台空港アクセス鉄道の開業により、飛躍的に交通利便性の高まったあすと長町。特に、JR長町駅はアクセス鉄道により運行本数が増加し、もともと運賃が安かった・仙台駅まで1駅という利便性が評価され地下鉄長町駅よりも利用者が多くなっています。この利用者増に呼応する形でtekuteながまちが開業、さらに駅前の利便性が高まりました。こうした近年の発展が評価されていることが、上記アンケートでも浮き彫りになっており、他エリアと比較しても相対的にあすと長町が住みたい街として支持を集めています。

地元仙台に特化したリサーチシステム「インサーチ仙台」で、住まいについてのアンケートを実施したところ、マンション派と戸建て派には顕著な志向の違いが見られました。マンション希望層のキーワードは「通勤に便利」「都心」「眺めのいい住まい」「セキュリティの充実」、戸建て希望層のキーワードは「子供や家族のため家を持ちたい」「子供の教育環境がよい場所」「緑が多い場所」「広い住まい」と、生活者がそれぞれの形態の住まいに抱いている固定概念が明確に現れる結果となりました。

**Q.あなたがマイホームにマンションまたは戸建てを選ぶとしたら、  
 どんな理由で選びますか？**



(n=516 2015年1月31日～2015年2月2日 インサーチ仙台調べ)

**マンションに求めるもの**

通勤便利 都心性 眺望  
 セキュリティ 防災性能

**戸建てに求めるもの**

家族のため 教育環境  
 緑の潤い 広い住まい

**マイホームにマンションを選ぶ理由として挙げられたのは  
 「通勤便利」「都心近接」「眺望」「セキュリティ」「防災性能」**